

### 5.1 建築デザイン分野

幅広い建築計画理論と美的素養を基に、建築の企画・計画の流れを把握し、建築・都市という実体にまとも上げ、デザインする能力を有する建築家・建築設計技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等	
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D		
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4														必修 8単位
基礎科目	数学1	数学2	物理1	物理2	イタリヤ語・イタリア文化	中国語・中国文化	文化と文明	デザイン文化論	建築と文化	アーバンイズム	風土と建築	環境とエネルギー					必修 6単位	
専門科目 学部科目								デザイン文化論	Design Basics in English									必修 30単位
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築)	建築入門	デザインスタジアム1(建築)	造形スタジアム	デザイン理論(建築)	図形の技術	図形の技術	建築計画1	建築のしくみ	材料の力学	部材の力学	建築気候	建築と文化	アーバンイズム	風土と建築	環境とエネルギー	必修 28単位 以上	
専門科目 学科科目			デザインスタジアム2(建築)	造形スタジアム	図形の技術	図形の技術	建築計画2	建築のしくみ	材料の力学	部材の力学	建築気候	建築と文化	アーバンイズム	風土と建築	環境とエネルギー	必修 8単位		
単位数合計	41				41				35				11				128	

  : 学科必修科目   
   : 資格認定推奨科目   
   : 建築デザイン分野推奨科目

\* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほかに、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。  
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすための科目を表記したものではありません。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

## 5.2 建築・都市史分野

都市と建築の歴史を学び、それらが成立した社会的・文化的背景を把握し、それらがアーキテクトマインドといかに結びついているかという創造的な行為を通じて、都市計画家・建築家・研究者・出版家などを志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基礎科目	数学1				物理1												必修 6単位
専門科目 学部科目	イタリア語・イタリア文化	中国語・中国文化	文化と文明	デザイン文化論	国際社会論	建築と文化	アーバンニズム	風土と建築	技術者倫理								
専門科目 学科学基礎科目			建築材料	建築のしくみ	建築計画1	建築計画2	構法スタジオ	建築計画1	建築計画2	建築計画1	建築計画2	建築計画3	建築計画4	建築計画5	建築計画6	建築計画7	必修 30単位
単位数合計	37				41				27				8				113

  : 学科必修科目
   : 資格認定推奨科目
   : 建築史・都市史分野推奨科目

\* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほか、専門科目学科学基礎科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。  
なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したのではない、これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

### 5.3 環境工学・建築設備分野

環境工学・建築設備の基礎知識を基に、環境保全に配慮しながら、人の安全と快適、衛生・健康を確保するために最適な環境設備システムの選択と設計を行うことができる設備設計技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基礎科目	数学1	数学2	数学1	数学2	数学1	数学2	数学1	数学2	物理1	物理2							必修 6単位
専門科目 学部科目	イタリア語・イタリア文化	中国語・中国文化	デザイン文化講	環境工学	法学(日本国憲法)	技術者倫理	環境とエネルギー	開発と国際協力	英語基礎技術								
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築)	建築入門	建築のしくみ	建築の力学	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	建築のしくみ	必修 30単位
専門科目 学科科目	デザインスタジオ1(建築)	デザインスタジオ2(建築)	デザインスタジオ3	デザインスタジオ4	建築心理心理1	建築心理心理2	建築心理心理3	建築心理心理4	建築心理心理5	建築心理心理6	建築心理心理7	建築心理心理8	建築心理心理9	建築心理心理10	建築心理心理11	建築心理心理12	選択科目 28単位 以上
専門科目 学科科目	造形スタジオ	図形の技術	給排水・電気設備	空気調和設備	建築環境	音・振動環境	光・視環境	卒業研究1(建築)	卒業研究2(建築)	卒業設計1	卒業設計2					必修 8単位	
単位数合計	40				41				37				10				128

  : 学科必修科目   
   : 資格認定推奨科目   
   : 環境分野推奨科目

\* 各年次履修科目登録上限49単位以内、各科目必修のほかに、専門科目学科科目の選択科目28単位以上、卒業所要単位124単位以上。  
 なお、この表は元の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすための科目を記載したものではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

## 5.4 建築構造分野

巨大な重力に常時耐え、地震や台風など過酷な非常時にも安全堅牢な建物を科学と技術と叡智により合理的かつ美しく設計することのできる建築構造技術者・デザイナーをを目指す。

	1年				2年				3年				4年				必修等																
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D																	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4																	必修 8単位												
基礎科目	数学1	数学2	物理1	物理2	環境とエネルギー	建築と文化			サステイナブルデザイン												必修 6単位												
専門科目 学術科目					部材の力学	骨組の力学	平面の力学														必修 30単位												
専門科目 学術基礎科目	導入ゼミナール(建築)	建築入門	デザインスタジオ1(建築)	造形スタジオ	建築材料	建築のしくみ	建築計画1	デザインスタジオ3	建築気候	構法スタジオ	建築計画2	デザインスタジオ4	構造とマトリクス	構造実験	材料特性実験	材料のデザイン	加工管理	建築の構造力学	鉄筋コンクリートのデザイン	空間の構造デザイン	日本建築史	デザインスタジオ5	構造計算 プログラミング	鋼のデザイン	木造建築の構法	建物の耐力	建築法論(建築)	近現代建築史	卒業 研究1 (建築)	卒業 研究2 (建築)	卒業 研究1 (建築)	卒業 研究2 (建築)	専門科目 学術科目 選択28 単位以上
専門科目 学術科目																													必修 8単位				
単位数合計	41				39				37				8				125																

  : 学術必修科目   
   : 資格認定必須科目   
   : 建築構造推奨科目

\* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほか、専門科目学術科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。  
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間関係を示すものであって、上記の条件を満たすためのすべての科目を表記したのではない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

### 5.5 建築構法・施工分野

先端的な構法と施工技術の能力を有し、建築材料や施工管理を通して現代の社会的責任を果たすことのできる建設施工技術者・管理技術者を志向。

	1年				2年				3年				4年				必修等
	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	A	B	C	D	
外国語科目	英語1	英語2	英語3	英語4													必修 8単位
基礎科目	数学1	数学2	物理1	物理2	環境工学	建築と文化	デザイン文化論	デザイン文化	技術者倫理	風土と建築	文化と文明	法と現代社会					必修 6単位
専門科目 学部科目					環境工学	建築と文化	デザイン文化論	デザイン文化	技術者倫理	風土と建築	文化と文明	法と現代社会					
専門科目 学科基礎科目	導入ゼミナール(建築)				環境工学	建築と文化	デザイン文化論	デザイン文化	技術者倫理	風土と建築	文化と文明	法と現代社会					必修 30単位
専門科目 学科科目					環境工学	建築と文化	デザイン文化論	デザイン文化	技術者倫理	風土と建築	文化と文明	法と現代社会					選択科目 28単位 以上
単位数合計	37				41				32				12				122

: 学科必修科目    
  : 資格認定推奨科目    
  : 構法・施工分野推奨科目

\* 各年次履修科目登録上限49単位以内。各科目必修のほかに、専門科目学科科目の選択科目28単位以上。卒業所要単位124単位以上。  
 なお、この表は系の履修推奨科目と科目間の関係を示すものであって、上記の条件を満たすための科目を表記したものでない。これ以外の科目は各自よく考えて履修登録すること。

カリキュラムマップ  
各科目が属するディプロマポリシーに○を付記しています。

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー	学位授与の方針についての目的や目標	DP1. 大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	DP2. 建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とそ責任を果たす覚悟がある	DP3. 修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協調的に取り組みながら、最良の成果を目指すことを第一義とする	DP4. 建築に関する情報技術の習熟を適格に把握し正確に分析処理することで再構築し提供できる	DP5. 企画やデザイン提案、研究や報告内容について、論理的に記述し明確に口頭説明する能力、及び他者と建設的に討議討論する能力、並びにそれをいづいかなる場においても発揮することのできる語学力を有する
外国語科目	1	英語 1							
	1	英語 2							
	1	英語 3							
	1	英語 4							
	1~4	英語 1 (補講)							
	1~4	英語 2 (補講)							
	1~4	英語 3 (補講)							
	1~4	英語 4 (補講)							
	1~4	財務会計							
	1~4	マーケティング							
	1~4	国際社会論							
	1~4	エコノミクス							
	1~4	法学 (日本国憲法)							
	1~4	法と現代社会							
基礎科目	1~4	知的財産権							
	2~4	技術者倫理							
	1~4	開発と国際協力							
	1~4	文化と文明							
	1~4	認知科学							
	1~4	イタリア語・イタリア文化							
	1~4	中国語・中国文化							
	1~4	環境とエネルギー							
	1~2	数学 1							
	1~2	数学 2							
工学系	1~2	物理 1							
	1~2	物理 2							
	1~2	数理解習 1							
	1~2	数理解習 2							
	1~4	ハイオエンジニアリング							
	1~4	ケミカルエンジニアリング							
	1~2	スポーツ総合演習							
	1~4	日本語 1							
基礎科目	1~4	日本語 2							
	1~4	日本語 3							
	1~4	日本語 4							
	1~4	日本文化論							
	1~4	日本の工業技術							
	1~4	一般数学							

ディプロマポリシー		学位授与の方針についての目的や目標					
区分	学年	科目名	DP1.大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の厚生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	DP2.建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とそ の保全にあることを理解し、その職業的責任を果たす覚悟がある	DP3.修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協 調的に取り組みながら、最良の成果を 目指すことを第一義とする	DP4.建築に関わる情報技術の習熟を 通じて、複雑で多岐にわたるデータを適 格に把握し正確に分析処理することので きる結果を解りやすく有用な表現形式に 再構築し提供できる	DP5.企画やデザイン提案、研究や報告 内容について、論理的に記述し明確に 口頭説明する能力、及び他者と建設的 に討議討論する能力、並びにそれをいっ いかなる場においても発揮することので きる語学力を有する
学部 科目	1	デザイン文化論		○			
	2	建築と文化		○			
	2	サステイナブルデザイン		○			
	3	英語表現技術		○			○
	2	都市デザイン		○			
	2	アーバンイズム		○			
	2	風土と建築		○			
	2	デザイン史		○			
	2	福祉工学		○			
	2	地図とGIS		○	○		
	2	ランドスケープデザイン		○			
	2	都市・地域政策		○			
	2	築構工学		○		○	
	2	テクニカルライティング		○			○
	2	数値統計学		○		○	
	3	タウナイズメント		○			
	2	メトリカルサイエンス		○			
3	公共空間デザイン及演習		○				
3	品質マネジメント		○				
2	Design Basics in English		○			○	
専 門 科 目	1	導入ゼミナール (建築)		○			
	1	建築入門		○			
	1	造形スタジオ		○			○
	1	図形の技術		○			
	1	デザイン理論 (建築)		○			
	1	デザインスタジオ1 (建築)		○			○
	1	デザインスタジオ2 (建築)		○			○
	2	デザインスタジオ3		○			○
	2	デザインスタジオ4		○			○
	2	建築気候		○		○	
	2	建築のしくみ		○			
	2	建築計画1		○			
	2	建築計画2		○			
	2	西洋建築史		○			
	2	建築生理心理1		○		○	
	2	建築生理心理2		○		○	
	2	空気調和設備		○		○	
2	給排水・電気設備		○		○		
2	平面の力学		○		○		
2	骨組の力学		○		○		
2	建築材料		○		○		
2	材料の力学		○		○		
2	部材の力学		○		○		
2	構造スタジオ		○			○	
2	建築の空間と形態		○			○	

区分	学年	科目名	ディプロマポリシー 学位授与の方針についての目的や目標			
			DP1. 大学で学び得た事柄を良き社会人として人々の学生と福利のために役立てることを倫理的な使命と考える	DP2. 建築家、建築技術者として社会から付託されている職能が安全かつ健康にして美しい建築・都市環境の創造とそ	DP3. 修得した建築に関する基礎的な知識と技術を有効に活用して、様々な分野の協業関係者と相互理解を深め、協	DP4. 建築に関わる情報技術の習熟を
専 門 科 目	3	インテンシブ (建築)	○	○	○	○
	3	建築フレーム	○	○	○	○
学 科 目	3	建築法類(建築)	○	○	○	○
	3	デザインスタジオ5	○	○	○	○
学 科 目	3	デザインスタジオ6	○	○	○	○
	3	建築論・建築造形論	○	○	○	○
学 科 目	3	都市計画	○	○	○	○
	3	日本建築史	○	○	○	○
学 科 目	3	フィールドワーク (建築)	○	○	○	○
	3	近現代建築史	○	○	○	○
学 科 目	3	都市史	○	○	○	○
	3	音・振動環境	○	○	○	○
学 科 目	3	光・視環境	○	○	○	○
	3	環境生態学	○	○	○	○
学 科 目	3	設備デザイン基礎	○	○	○	○
	3	建築設備総合デザイン	○	○	○	○
学 科 目	3	構造とマテリアル	○	○	○	○
	3	構造計算ソフトウェア	○	○	○	○
学 科 目	3	空間の構造デザイン	○	○	○	○
	3	鉄筋コンクリートのデザイン	○	○	○	○
学 科 目	3	鋼のデザイン	○	○	○	○
	3	材料のデザイン	○	○	○	○
学 科 目	3	構造デザインの実践	○	○	○	○
	3	建物の振動と耐震化	○	○	○	○
学 科 目	3	建物の耐力	○	○	○	○
	3	建築の地盤力学	○	○	○	○
学 科 目	3	構造実験	○	○	○	○
	3	デジタルスタジオ	○	○	○	○
学 科 目	3	材料特性実験	○	○	○	○
	3	施工管理	○	○	○	○
学 科 目	3	木造建築の構法	○	○	○	○
	3	建築生産	○	○	○	○
学 科 目	3	建築の測量実習	○	○	○	○
	4	デザインスタジオ7	○	○	○	○
学 科 目	4	卒業研究1 (建築)	○	○	○	○
	4	卒業研究2 (建築)	○	○	○	○
学 科 目	4	卒業設計1	○	○	○	○
	4	卒業設計2	○	○	○	○